

令和4年度東部地区感染対策向上研修会資料

開催日時：令和4年10月31日（月）開場13：40 開始14：00

主催：静岡県東部地区感染管理担当看護師等連絡会

【内容】

項目	担当
1 挨拶、研修会の目的について	県東部保健所医療健康部長：青木
2 バンコマイシン耐性腸球菌（VRE）について	県立静岡がんセンター：倉井
3 感染管理担当看護師等連絡会の取り組みについて	聖隷沼津病院：佐藤
4 感染対策のための自主チェックリストに対するアンケート結果	順天堂大学医学部付属静岡病院：長富
5 施設における感染対策の実際 ①おむつ交換 ②尿処理	①NTT 東日本伊豆病院：河野 ②沼津市立病院：白井
6 保菌者受け入れ時の注意事項について	裾野赤十字病院：木戸
7 質疑応答	本連絡会メンバー
8 質問等の問い合わせ先について	

1. 本日の目的

近年、全国的にもバンコマイシン耐性腸球菌（VRE）が増加している中、県内においても東部地域での感染が拡大している。感染の拡大を防止するためには、日頃からの感染対策の実施が重要である。しかし、VREの多くは無症候のため、気づかずに施設内で拡げている恐れがある。VREについて正しく理解するとともに、具体的な対策や手技を学ぶことにより、各施設における感染対策の充実を図る。

2. バンコマイシン耐性腸球菌（VRE）について 別紙参照

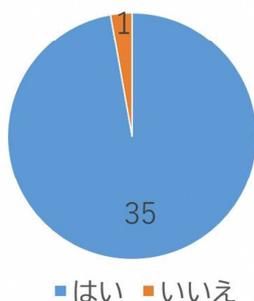
3. 感染管理担当看護師等連絡会の取り組みについて

年	経過及び問題点	取り組み内容
令和1年	静岡県中部の病院でVREアウトブレイク ・9月東部保健所管内で初めて発生届けあり（1件）	
令和2年	・静岡県東部でもVREの発生届けが提出され始める。（2～3月8件） ・遺伝子型別分析で中部の株と遺伝子学的に近縁であることが判明 ・東部地区の複数病院で発生 【問題点】病院によって対策が一致していない ・対策が統一されていないため感染拡大が危惧される	・当連絡会議でも保健所と参加施設間で情報交換・共有を始める。 ・東部地区でVREが多発している事に地域全体で危機感を持ち一定水準で感染対策が実施できる必要性を再確認 令和2年10月VRE感染症の対策連絡会議開催

	<p>【問題点】各施設クリーニング検査の判断・基準実施状況は様々</p> <ul style="list-style-type: none"> ・転院先病院や施設が VRE 保菌を理由に受け入れを拒否。急性期病院では転院調整が難航 <p>【問題点】看護師と医師の認識の違いから医師が受け入れを拒否する事例も発生</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・バンコマイン耐性腸球菌陽性者報告用紙の作成と運用開始（保菌者の発生数把握のため） ・バンコマイン耐性腸球菌対応マニュアル作成 ・マニュアルを東部保健所管内 553 施設へ配布 ・マニュアルに対するアンケート実施（回答者 223 名）
	<p>新型コロナウイルスの世界的大流行により個人防護具が枯渇する施設が多発、感染対策に必要な個人防護具の確保が困難な施設も発生</p>	
令和 3 年	<ul style="list-style-type: none"> ・発生報告数に変化なし ・アウトブレイク施設あり 	<ul style="list-style-type: none"> ・当連絡会で新型コロナウイルスと VRE チェックリストを作成 ・上記チェックリストを東部保健所管内 500 施設へ配布 ・その後チェックリストに対するアンケート実施（病院有床施設 36 高齢者施設 162 より回答）
令和 4 年		<p>令和 3 年度に実施したチェックリストに対するアンケート結果を解析し問題点と具体的な対策を提示</p>

4. 『感染対策のための自主チェックリスト』に対するアンケート結果

感染対策マニュアルはありますか

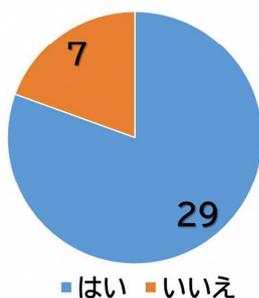


感染対策マニュアルは見直していますか

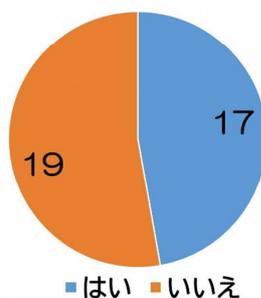


感染対策マニュアルはほとんどの施設で作成され、75%近く見直しが行われている。感染対策を実践する上で基本となるものが各施設のマニュアルであり、誰もが困った時にいつでも手に取って確認できるように管理が必要である。

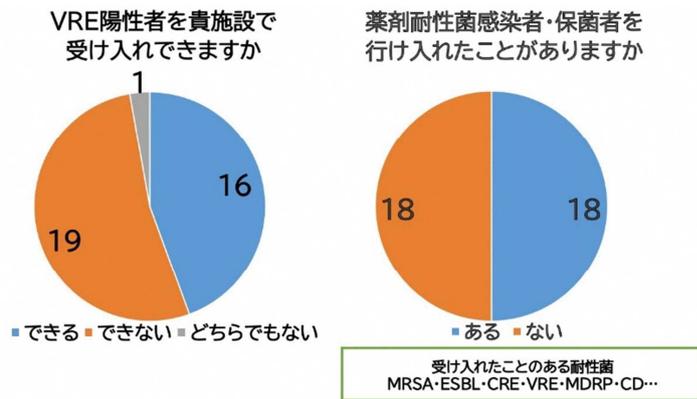
職員向けの感染対策の研修会を実施していますか



就職時の感染対策の研修会を実施していますか



全職員が感染対策の研修に参加することで、感染に対する職場の意識も向上するため、多くの職員が参加できるような研修会の企画が必要。



VREをはじめとする薬剤耐性菌を持っている方はほとんどが感染を起こしていないただ持っているだけの保菌者である。これから未知の薬剤耐性菌を持った方が現れるかもしれません。CDCが提唱している「標準予防策」は、誰が何を持っているかわからないため、全ての人が対象になっています。

出来ていないと感じた上位 5 項目

- (ア) 休憩室利用状況が振り替えられる工夫がされているか (No.58)
- (イ) 手荒れがない (No.6)
- (ウ) 新型コロナウイルス感染症疑いまたは陽性者発生時のゾーニング (清潔区域と汚染区域の区分け) 方法が明文化され周知されているか (No.48)
- (エ) 洗い始めから洗い終わりまでに 30 秒以上の時間をかけている (No.15)
- (オ) 新型コロナウイルス感染症疑いまたは陽性者発生時の手順が明文化され周知されているか (No.47)
- (オ) 濃厚接触者への対応が明文化され周知得ているか (No.49)
- (オ) 感染症の研修に年 1 回以上参加している (No.60)
- (オ) 感染症対策マニュアルが定期的に見直されていることを知っている (No.63)

同列順位

出来ていると感じた上位 5 項目

- (ア) 擦式手指消毒薬は使用しやすい場所に設置されている (No.1)
- (イ) 手洗い終了後は流水で石けんを十分に洗い流している (No.14)
- (ウ) 目に見える汚れがある場合やノロウイルスなどアルコール消毒薬での効果が低い病原体に接触した場合は液体石けんと流水での手洗いを行っている (No.9)
- (エ) 爪は短く切っている (No.8)
- (オ) 擦式手指消毒薬は使用期限内である (No.2)

標準予防策の中でも重要な「手指衛生」に関する意識は高いようです。3年前から始まった新型コロナウイルス感染症はいまだに手探り状態の部分もあるため、「できていない」と感じる人が多いようです。

★『感染対策のための自主チェックリストに対するアンケート』にいただいた質問事項のご紹介

Q	感染症に対しての認識や知識が低く、ICN や ICD もいないため、相談をするところが無い場合どうすればよいのか？
A	①マニュアルの再確認。まず頼りになるのは、いつも傍にあるマニュアルです！ ②管内の「感染管理認定看護師」「感染症看護専門看護師」に相談。

Q	VRE がアウトブレイクしてしまった時は、どのように対応すればよいですか？
A	①接触予防策の対応確認 ・陽性者は個室隔離（個室がなければコホート隔離） ・標準予防策＋接触予防策の実施 ・隔離エリアに入る時には PPE を装着して対応する（患者に触れなくても装着する方法を徹底） ②スクリーニングの実施 ・同室者を検査→同室者(+)の場合→当該病棟を検査など ・検体採取方法（便培養→スワブでの採取も OK） ③保健所へ連絡

Q	感染対策が徹底できません
A	①例えば何ができていないと感じているか観察をしてみる <u>手指衛生</u> <input type="checkbox"/> 手洗い・手指消毒の手技 <input type="checkbox"/> 実施するタイミング <u>適切な防護具の着脱</u> <input type="checkbox"/> サージカルマスク <input type="checkbox"/> ビニールエプロン <input type="checkbox"/> ガウン <input type="checkbox"/> キャップ <input type="checkbox"/> 手袋 <input type="checkbox"/> その他（ ） ②なぜできないのか確認する <input type="checkbox"/> 必要性が理解できていない <input type="checkbox"/> 実施方法（使い方）がわからない など ③対策を考え実施する <input type="checkbox"/> 研修会が必要か <input type="checkbox"/> OJT が必要か など ④評価する <input type="checkbox"/> PDCA サイクルを回してみる
Q	感染に対応しているスタッフが対策を理解できているのか知る方法は？
A	①チェックリストを活用して確認をする。 ②場面を観察して遵守状況確認する。 ③確認テストを実施して記述してもらい確認する。 など

Q	多国籍の職員の感染に対する必要な知識と技術は？
A	国籍に関わらず、標準予防策や経路別対策は各告共通の認識なので、日本の方も含め、スタッフがどこまで学習してきているのかを確認できると良いのではないかと。 →母国語の教科書がないのか確認する。

Q	症状の無い保菌者への対応は？
A	静岡県公式ホームページ内 バンコマイシン耐性腸球菌(VRE) Q & A 集 参照 https://www.pref.shizuoka.jp/kousei/ko-750/banko.html

Q	他院での感染対策や工夫していることは？
A	①実際に各病院で取り組んだ実例を紹介する。 ②アウトブレイクした病院からの情報など確認して情報提供する。

Q	新しい情報の入手方法は？
A	・静岡県におけるバンコマイシン耐性腸球菌（VRE）発生状況 http://www.pref.shizuoka.jp > kousei > documents > 20200923vre ・静岡県バンコマイシン耐性腸球菌（VRE）Q&A http://www.pref.shizuoka.jp > kousei > banko ・静岡県感染症情報センター http://www.pref.shizuoka.jp/kousei/ko-420a/center.html ・国立感染症研究所 https://www.niid.go.jp/niid/ja/vre-m/vre-iasrs/10264-495p01.html

5. 施設における感染対策の実際 別紙参照

6. 保菌者受け入れ時（転院等）の注意事項について

Q	VRE に感染しても退院・転院は可能ですか？
A	可能です！施設内で VRE 保菌者、VRE 感染がわかっていたら転院先に事前に情報共有をします。

Q	転院先への情報提供の内容は？
A	①保菌者・感染者、②検出部位、③最終検査日、④バンコマイシン使用期間 ⑤現在の治療状況（感染者の場合）、⑥排泄様式、便の状況、⑦吸引操作、⑧ADL ⑨転院までの経過

Q	受け入れ側の感染対策は？
A	①職員の手指消毒状況の確認と指導 ②職員の PPE の着脱状況の確認と指導 ③施設内の環境整備状況の確認と指導 ④施設内での受け入れ患者情報の周知 ⑤個室、大部屋の選択 ⑥排泄時の感染対策：オムツ交換 ⑦環境清掃

7. 質疑応答

8. 質問等の問い合わせ先について

- 加算等で連携している施設がある場合は、その施設の感染管理担当者に問い合わせてください。
- 連携施設がない場合は、[公益社団法人 静岡県病院協会 \(shizuoka-bk.jp\)](http://shizuoka-bk.jp)ホームページの活用を推進します。

公益社団法人 静岡県病院協会
Shizuoka Hospital Association

病院協会概要 | 事業実施案内 | 事業実施報告 | **医療機関の感染対策** | 福祉施設の感染対策 | 医療機能分化連携 | お問い合わせ

健康・安心・安全
公益社団法人 静岡県病院協会

医療機関の感染対策

「感染対策相談」のご紹介

新型コロナウイルスやノロウイルスなどの感染症は、医療機関において集団感染を引き起こしており、感染対策の実施は欠かせないものとなっております。
これらに対し、静岡県病院協会では医療機関を対象に、感染対策相談窓口を設置しております。

感染対策相談窓口

- 相談窓口 公益社団法人 静岡県病院協会 感染対策相談窓口
TEL 054-252-7107 / FAX 054-266-3253
- 相談受付時間 電話 月曜-水曜-金曜(祝日除く) 13:00~17:00
- その他 いただいた相談・質問は、感染対策地域支援委員会の医師・看護師に相談・照会後に回答します。

相談者 (医療機関) ↔ 相談 ↔ 相談窓口 (病院協会事務局) ↔ 相談 ↔ 感染対策地域支援委員会

相談者 (医療機関) → 相談 → 相談窓口 (病院協会事務局) → 回答 → 感染対策地域支援委員会

公益社団法人 静岡県病院協会
ホームページ (医療機関の感染対策「感染対策Q&A」)

医療従事者

医療機関の感染対策 Q & A

よくある相談事例はこちら

公益社団法人 静岡県病院協会

公益社団法人 静岡県病院協会
Shizuoka Hospital Association

病院協会概要 | 事業実施案内 | 事業実施報告 | **医療機関の感染対策** | 福祉施設の感染対策 | 医療機能分化連携 | お問い合わせ

HOME > 感染対策相談窓口 > 感染対策Q&A

このページを印刷する

感染対策相談窓口 Advice

多剤耐性菌対策

- 1. 海外からの渡来者が入院して来たときの対応は?
- 2. ESRB 感染症は抗菌剤を使用しなくても感染はおきるのか?
- 3. 3度から多剤耐性菌 (O) の患者の移住時の感染予防策について
- 4. 多剤耐性菌の定義・特長などについて
- 5. 多剤耐性菌についてのまとめ
- 6. 院内感染 (医療関連感染) を疑った場合はどんな時ですか?
- 7. 多剤耐性菌は保健所等への届け出が必要ですか?
- 8. 感染症が疑い場合の取りかき・アルコール管理方法を教えてください

標準予防策・接触予防策

器具・器材・リネン類の洗浄・消毒・滅菌

ハウスキーピング